

警 察 署 協 議 会 会 議 録

直方警察署協議会

開催年月日時	令和5年2月16日 午前10時30分 から 令和5年2月16日 午前11時35分 まで	
開催場所	直方警察署 4階大会議室	
出席者	警察署協議会	会長以下10名
	警察署	署長、副署長、総務課長、会計課長、生活安全課長、刑事課長、交通課長、警備課長、地域課長、宮若警部交番所長、総務第二係長
議 事 概 要		
<p>【会長挨拶（要旨）】</p> <p>最近のテレビのニュースは暗いニュースばかりであり、地域の安全・安心がいかに大切かを痛感している。地域の安全・安心のために、署長をはじめ、職員の皆様には感謝申し上げます。また、委員の皆様は、住民と警察の架け橋となって協議会を盛り上げていただきたい。</p> <p>先日、新聞に「ブラジルに『交番』が作られて、世界一治安の悪い街の治安が改善された。」という記事が載っていた。日本の交番システムが海外でお手本にされ、治安の改善に役立っているということを知って本当に嬉しく思った。また、その記事は「警察と住民が信頼関係を築けば、犯罪は防止できる。」と締めくくられていた。これからも地域の見守りをよろしく願います。</p> <p>【署長挨拶（要旨）】</p> <p>平素から警察業務に対する御理解と御協力をいただき、また、大変お忙しい中、お集まりいただき御礼申し上げます。</p> <p>1名の委員が3月末を持って退任されることになり、本日が現体制での実質最後の警察署協議会となる。在任中は格段の御協力をいただき感謝申し上げます。</p> <p>本日も率直な御意見をよろしく願います。</p> <p>【報告事項等】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 警察署協議会会長連絡会議結果報告（会長） 2 令和4年中の当署管内の治安情勢について（総務課長） 		

議 事 概 要

3 若手警察職員の意見発表

【質問及び回答】

○ 委員から「年末の交通安全県民運動において「飲酒運転の撲滅」が重点目標の一つに掲げられていたが、直方警察署管内の取締り結果等を教えてほしい。」旨の質疑がなされ、交通課長から「期間中、当署管内では飲酒運転1件を検挙した。令和4年中は32件検挙しており、前年に比べ3件増加した。県下全体では1300件を超えており、前年比約300件の増加となっている。依然として、危険な飲酒運転はなくなっていない現状である。当署としては、飲食店街周辺の職務質問などを行い、交通事故を起こす前に検挙していきたい。また、日頃から幅広く飲酒運転情報を得られるよう、管内のコンビニエンスストアや飲食店等に対し「飲酒運転通報訓練」を実施している。」旨の回答がなされた。委員から「市民にとっては通報するのは非常にハードルが高く感じる。機会があれば、警察署協議会でも訓練を実施してほしい。」との意見がなされた。

○ 委員から「県道室木下有木若宮線の室木峠付近に酒類の空き缶のポイ捨てが多い。常習と思われるので取締りを強化してほしい。」旨の要望がなされ、生活安全課長から「早速、現場の確認を行い、宮若市とも情報を共有した。宮若市もこの件は把握しており、対策を検討中とのことであった。街が汚れると犯罪が増える、いわゆる「割れ窓理論」である。こういう犯罪を一つ一つ解決していくことが重要である。当署としては、現場周辺における飲酒検問を実施し、取締りと併せて広報啓発を行う予定である。また、市民の方からの情報提供が検挙に繋がる場合もあるので、近隣の方などに情報提供の重要性を教示していただきたい。また、会社であれば、情報提供の重要性に加え、社員自身がポイ捨てをしないよう、社員教育を行ってほしい。」旨の回答がなされた。

委員から「現場に立札はあるのか。立札に、警察署の名前を前面に出し、ポイ捨てをすれば犯罪となり、どのような懲罰になるのかを明記することで抑止効果が高まるのではないか。」との意見がなされ、生活安全課長から『「不法投棄監視カメラ設置路線」の看板が立てられている。設置個所の増設や内容については、今後、行政と協力しながら検討していく。』旨の回答がなされた。

議 事 概 要

【感謝状贈呈】

退任する委員に対し、署長から感謝状を贈呈した。

【署長総括（要旨）】

- 説明させていただいた治安情勢は、いわゆる「指数治安」である。もう一つ大事なのは「体感治安」で、安全性をどう実感できるかである。

警察庁が行った男女5千人へのアンケートで、約7割が「日本の治安が悪化していると感じる。」と回答したそうである。その主な要因はやはりストーカー殺人等、凶悪事件の発生である。アンケートの時期にもよるが、最近ではニセ電話詐欺やルフィと称する男を中心とした強盗殺人事件等が発生しており、そのような事件が日本で起きているという実感を国民が持っていることにより体感治安が悪化していると思われる。

会長が冒頭に述べられた交番制度は、本当に世界に誇れる制度であり、日本の治安維持の最前線は地域課の交番やパトカーだと思う。

この直方警察署管内が「日本一安全な街」となるよう目指していきたい。

- 先程、若い警察官と行政職員の二人が意見発表した。自分もあんなキラキラしていた時期があったのだと、原点に戻るような気持ちになった。
- 「ポイ捨て」という行為の積み重ねが、体感治安の悪化に繋がっていくことから、体感治安を意識しながら、しっかりと対応していく。
- 直方警察署の良いところは、警察署協議会の皆様をはじめ、自治体、企業、住民の方との距離が近いところである。これを大事にしながら、街頭で活動する警察官の姿を見せて犯罪の予防と検挙に努めていきたい。

最後に、今年の3月をもって定年退職を迎え、これからは警察行政や地元の方を応援する立場になる。在任中、委員の皆様には、お力添えをいただき心より感謝申し上げます。引き続き、直方警察署への御支援、御協力をよろしくお願いする。

【閉会】

次期開催日等の説明があった後、閉会した。